

高校入試過去問(滝高校) (R2)年数学

100点満点(60)分

1.

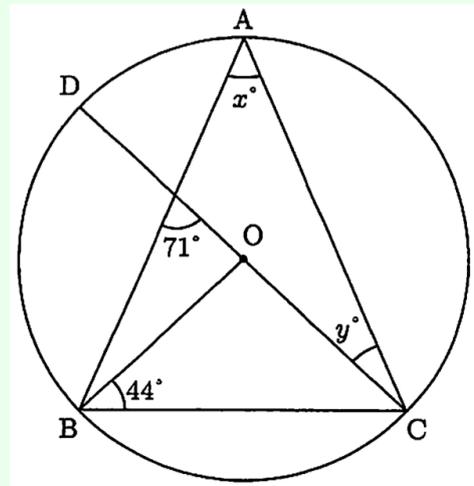
(1) $x = \frac{3}{2}$, $y = -\frac{1}{9}$ のとき, $6xy^2 \div (-3xy)^3 \times \left(-\frac{3}{2}x^2y\right)^2$ の値を求めよ。

(2) $a^3 - a^2b + 2b^2 - 2a^2$ を因数分解せよ。

(3) 2次方程式 $(2x+1)(3x-1) - 37x - 29 = 0$ を解け。

(4) 1, 2, 3, 4の数字が書かれたカードが1枚ずつある。これらのカードから続けて2枚を引
き、1枚目の数字を十の位、2枚目の数字を一の位として2桁の整数を作る。このとき、できた
数字が素数になる確率を求めよ。ただし、引いたカードは戻さないものとする。

(5) 下図でA, B, C, Dは円周上の点、Oは円の中心、CDは円Oの直径である。このとき、 x 、 y の値を求めよ。



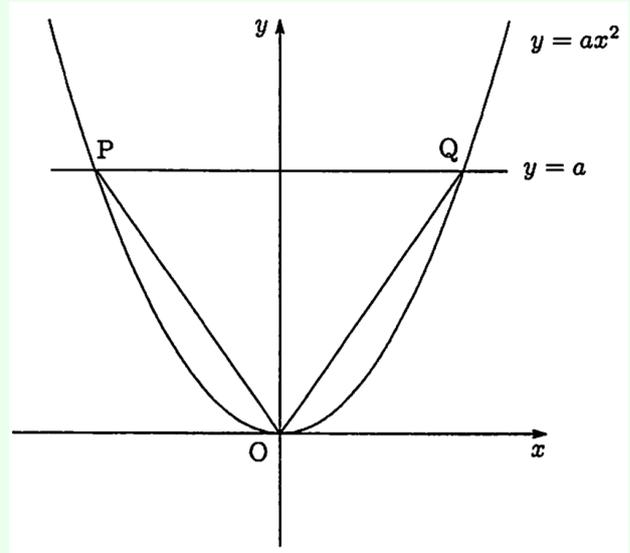
ある動物園の入場料は大人600円、子供400円である。また、大人と子供の合計で30人以上のグループには、グループ割引で入場料が大人も子供も20%引きになる。今、大人と子供あわせて29人のグループがこの動物園に行く計画を立てていたところ、当日に子供が5人増えたのでグループ割引が適用できて、入場料は計画を立てたときより1000円安くなった。計画時点での大人の人数を x 人、子供の人数を y 人として、次の各問いに答えよ。

- (1) x と y についての連立方程式を作れ。
- (2) (1)を解いて、 x 、 y の値を求めよ。

3.

a は正の定数とする。放物線 $y = ax^2$ と直線 $y = a$ の交点を P, Q とする。ただし、点 P の x 座標は負である。 $\triangle OPQ$ が正三角形になるとき、次の各問いに答えよ。

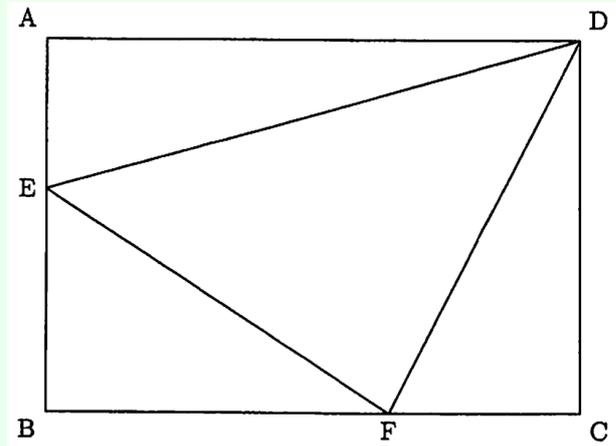
- (1) a の値を求めよ。
- (2) 点 Q を通り、 $\triangle OPQ$ の面積を 2 等分する直線 l の方程式を求めよ。
- (3) (2) の直線 l と x 軸の交点を R とする。 $\triangle OQR$ を直線 l の周りに 1 回転させてできる回転体の体積を求めよ。



4.

$AB = a$, $BC = a + 6$ の長方形 $ABCD$ がある。辺 AB 上に $AE = 6$, 辺 BC 上に $CF = 6$ となる点 E , F をとる。ただし, $a > 6$ とする。このとき, 次の各問いに答えよ。

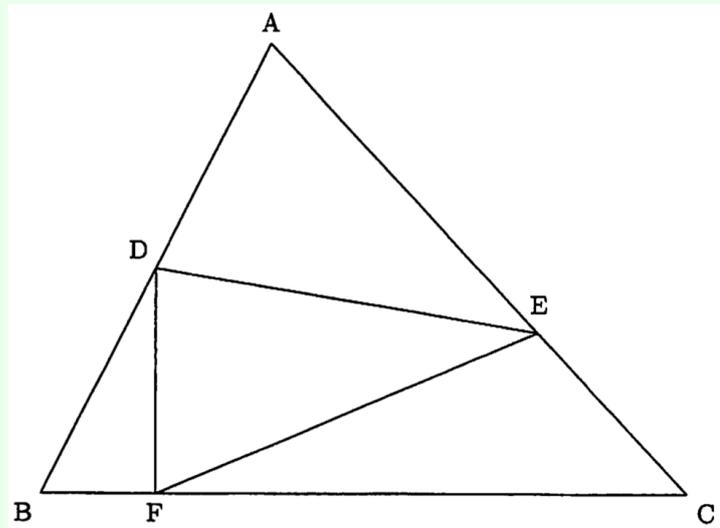
- (1) $\triangle EBF$ の面積を a を用いて表せ。
- (2) $\triangle DEF$ の面積が 38 のとき, a の値を求めよ。
- (3) (2) のとき, DE の中点を G とおく。 FG の延長が辺 AD と交わる点を H とするとき, AH の長さを求めよ。



5.

$\triangle ABC$ の頂点AをDEで折り返し、辺BC上の点Fに重なる。 $\angle A = 75^\circ$ 、 $DF \perp BC$ 、 $AD = \sqrt{3}$ 、 $BF = 1$ とする。このとき、次の各問いに答えよ。

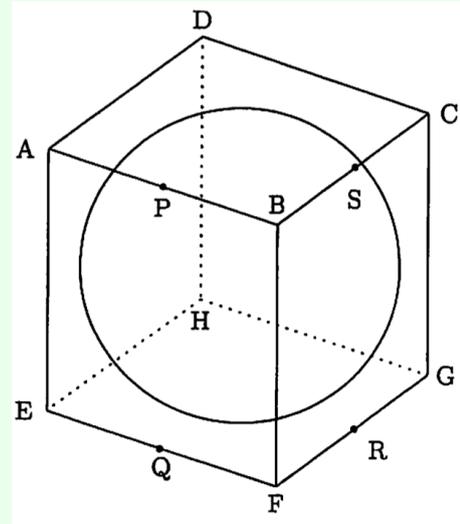
- (1) $\angle EFC$ の大きさを求めよ。
- (2) $\angle ACB$ の大きさを求めよ。
- (3) BCの長さを求めよ。
- (4) AEの長さを求めよ。



6.

1辺の長さが8の立方体 $ABCD-EFGH$ に球が内接している。AB, EF, FG, BCの中点をそれぞれP, Q, R, Sとする。このとき、次の各問いに答えよ。

- (1) 3点A, C, Fを通る平面で球を切ったとき、切り口の円の面積を求めよ。
- (2) 4点P, Q, R, Sを通る平面で球を切ったとき、切り口の円の面積を求めよ。



高校入試過去問(滝 高校) (R2)年数学

100点満点(60)分

1.

(1) $x = \frac{3}{2}$, $y = -\frac{1}{9}$ のとき, $6xy^2 \div (-3xy)^3 \times (-\frac{3}{2}x^2y)^2$ の値を求めよ。

$$\begin{aligned} & 6xy^2 \div (-27x^3y^3) \times \frac{9}{4}x^4y^2 \\ = & \frac{6xy^2 \times 9x^4y^2}{(-27x^3y^3) \times 4} \\ = & -\frac{1}{2}x^2y \quad \text{1} = x = \frac{3}{2}, y = -\frac{1}{9} \text{ を代入。} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & -\frac{1}{2} \times \left(\frac{3}{2}\right)^2 \times \left(-\frac{1}{9}\right) \\ = & -\frac{1}{2} \times \frac{9}{4} \times \left(-\frac{1}{9}\right) \\ = & \frac{1}{8} // \end{aligned}$$

(2) $a^3 - a^2b + 2b^2 - 2a^2$ を因数分解せよ。

$$\begin{aligned} & = a^2(a-b) + 2(b^2 - a^2) \\ & = a^2(a-b) + 2(b+a)(b-a) \quad \left. \begin{array}{l} \\ \end{array} \right\} b-a = -(a-b) \\ & = a^2(a-b) - 2(a+b)(a-b) \\ & \quad a-b = M \text{ とおく。} \\ & \quad a^2M - 2(a+b)M \\ & = M(a^2 - 2(a+b)) \\ & = (a-b)(a^2 - 2a - 2b) // \end{aligned}$$



共通因数 $a-b$
を作ったために,
 -1 を () の外へ!

(3) 2次方程式 $(2x+1)(3x-1) - 37x - 29 = 0$ を解け。

$$6x^2 - 2x + 3x - 1 - 37x - 29 = 0$$

$$6x^2 - 36x - 30 = 0$$

$$x^2 - 6x - 5 = 0$$

$$x = 3 \pm \sqrt{14} //$$

(4) 1, 2, 3, 4の数字が書かれたカードが1枚ずつある。これらのカードから続けて2枚を引き、1枚目の数字を十の位、2枚目の数字を一の位として2桁の整数を作る。このとき、できた数字が素数になる確率を求めよ。ただし、引いたカードは戻さないものとする。

できる2桁の数は、

12 X	21 X	31 ○	41 ○	$\frac{5}{12}$ //
13 ○	23 ○	32 X	42 X	
14 X	24 X	34 X	43 ○	

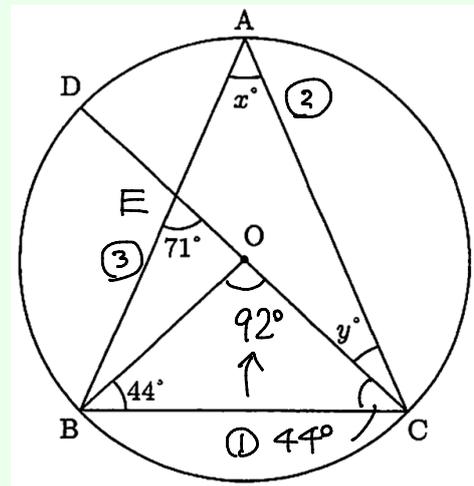
(5) 下図でA, B, C, Dは円周上の点、Oは円の中心、CDは円Oの直径である。このとき、 x , y の値を求めよ。

① $\angle OCB = 44^\circ$ $\left\{ \begin{array}{l} OB = OC \text{ の} \\ \text{等辺三角形} \end{array} \right\}$
 より $\angle BOC = 92^\circ$

② $\angle BAC = x = 46^\circ$ $\left\{ \begin{array}{l} \widehat{BC} \text{ の 中心角} \\ \text{の } \frac{1}{2} \end{array} \right\}$

③ $\angle BEC = x + y$
 $71^\circ = 46^\circ + y$
 $y = 25^\circ$

$\angle x = 46^\circ$
 $\angle y = 25^\circ$



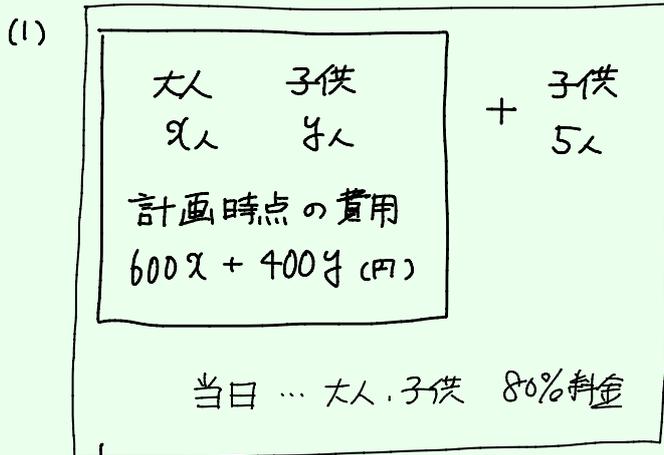
円の問題 よく使う図形

- 等辺三角形 (半径で作らぬ)
- 直角三角形 (直径を含む)

2.

ある動物園の入場料は大人600円、子供400円である。また、大人と子供の合計で30人以上のグループには、グループ割引で入場料が大人も子供も20%引きになる。今、大人と子供あわせて29人のグループがこの動物園に行く計画を立てていたところ、当日に子供が5人増えたのでグループ割引が適用できて、入場料は計画を立てたときより1000円安くなった。計画時点での大人の人数を x 人、子供の人数を y 人として、次の各問いに答えよ。

- (1) x と y についての連立方程式を作れ。
- (2) (1)を解いて、 x 、 y の値を求めよ。



$$600x \times \frac{80}{100} + 400(y+5) \times \frac{80}{100} = (600x + 400y) - 1000$$

$$480x + 320(y+5) = 600x + 400y - 1000$$

$$\begin{aligned} 120x + 80y &= 2600 \\ 3x + 2y &= 65 \end{aligned} \quad \downarrow \div 40$$

$$\begin{cases} x + y = 29 & \dots \textcircled{1} \\ 3x + 2y = 65 & \dots \textcircled{2} \end{cases}$$

(2) $\textcircled{1} \times 2 - \textcircled{2}$

$$\begin{aligned} 2x + 2y &= 58 \\ -) 3x + 2y &= 65 \\ \hline -x &= -7 \\ x &= 7 \end{aligned}$$

$\textcircled{1}$ に代入して $y = 22$

$\therefore (x, y) = (7, 22)$ //



情報を自分でわか
やおいように、素早く
まとめらるうようにね3つ!

3.

a は正の定数とする。放物線 $y = ax^2$ と直線 $y = a$ の交点を P, Q とする。ただし、点 P の x 座標は負である。 $\triangle OPQ$ が正三角形になるとき、次の各問に答えよ。

- (1) a の値を求めよ。
- (2) 点 Q を通り、 $\triangle OPQ$ の面積を 2 等分する直線 l の方程式を求めよ。
- (3) (2) の直線 l と x 軸の交点を R とする。 $\triangle OQR$ を直線 l の周りに 1 回転させてできる回転体の体積を求めよ。

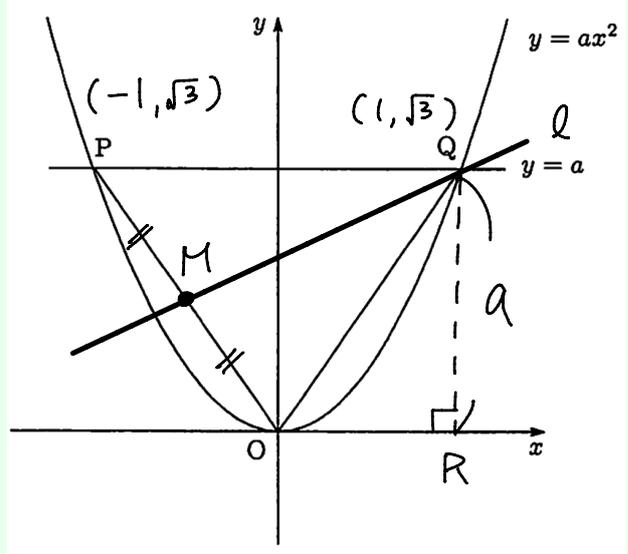
(1) $\triangle OPQ$ が正三角形になるので
 $\triangle ORQ$ は $1:2:\sqrt{3}$ の直角
 三角形なので $Q\left(\frac{a}{\sqrt{3}}, a\right)$

Q は $y = ax^2$ 上の点なので
 $x = \frac{a}{\sqrt{3}}, y = a$ を代入し

$$a = a \times \left(\frac{a}{\sqrt{3}}\right)^2$$

$a > 0$ より両辺 $\div a$

$$\frac{a^2}{3} = 1 \quad a = \sqrt{3} //$$



(2) $O(0,0), P(-1, \sqrt{3})$ より
 中点 M は $\left(\frac{0+(-1)}{2}, \frac{0+\sqrt{3}}{2}\right)$
 $= \left(-\frac{1}{2}, \frac{\sqrt{3}}{2}\right)$

$Q(1, \sqrt{3})$ なので \hookrightarrow 2点を通る直線の傾きは、

$$\frac{\sqrt{3} - \frac{\sqrt{3}}{2}}{1 - (-\frac{1}{2})} = \frac{\frac{\sqrt{3}}{2}}{\frac{3}{2}} = \frac{\sqrt{3}}{3} \rightarrow y = \frac{\sqrt{3}}{3}x + b$$

$(1, \sqrt{3})$ を代入し $\sqrt{3} = \frac{\sqrt{3}}{3} + b \quad b = \frac{8\sqrt{3}}{3}$

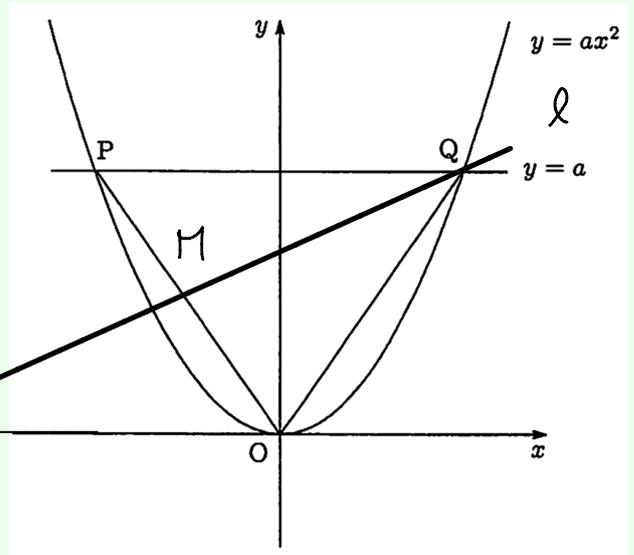
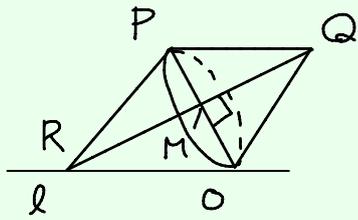
$$y = \frac{\sqrt{3}}{3}x + \frac{8\sqrt{3}}{3} //$$



(2)

求める直線 l は、
 PO の中点と Q を
 通る直線

(3) (2)の直線 l と x 軸の交点を R とする。△ OQR を直線 l の周りに 1 回転させてできる回転体の体積を求めよ。



元の図だと
 $RQ \perp OP$ に
 気づきづらい。
 仮定「 OPQ は
 正三角形」を
 確認!

① できる回転体は、 $1:2:\sqrt{3}$ の直角三角形
 OMQ を l 周りで 1 回転させた円錐
 2 つ分の体積となる。

② △ OPQ は 1 辺 2cm の正三角形 ための

$$\text{円錐 } OPQ = OM^2 \times \pi \times MQ \times \frac{1}{3}$$

$$= 1^2 \times \pi \times \sqrt{3} \times \frac{1}{3} = \frac{\sqrt{3}}{3} \pi \rightarrow$$



これが 2 つ分 ための $\frac{\sqrt{3}}{3} \pi \times 2 = \frac{2\sqrt{3}}{3} \pi$

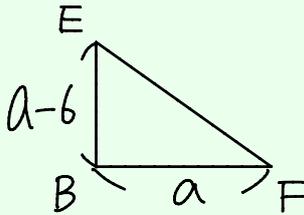
————— //

4.

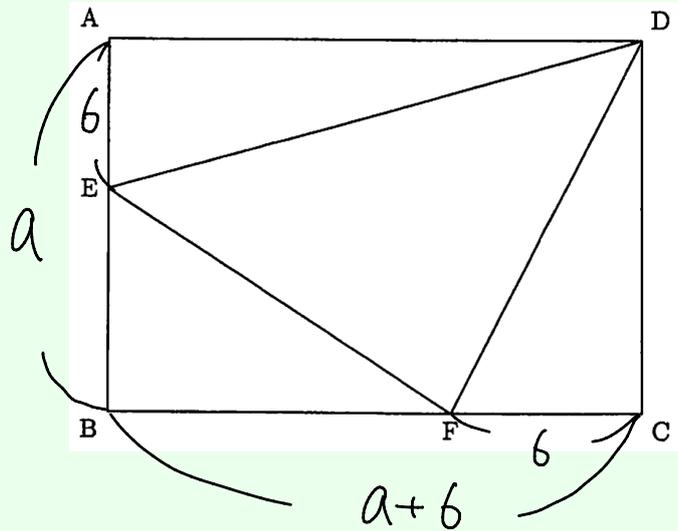
$AB = a$, $BC = a + 6$ の長方形 $ABCD$ がある。辺 AB 上に $AE = 6$, 辺 BC 上に $CF = 6$ となる点 E , F をとる。ただし, $a > 6$ とする。このとき, 次の各問いに答えよ。

- (1) $\triangle EBF$ の面積を a を用いて表せ。
- (2) $\triangle DEF$ の面積が 38 のとき, a の値を求めよ。
- (3) (2) のとき, DE の中点を G とおく。 FG の延長が辺 AD と交わる点を H とするとき, AH の長さを求めよ。

(1)



$$\begin{aligned} \therefore \triangle EBF &= a \times (a-6) \times \frac{1}{2} \\ &= \frac{a(a-6)}{2} \end{aligned}$$



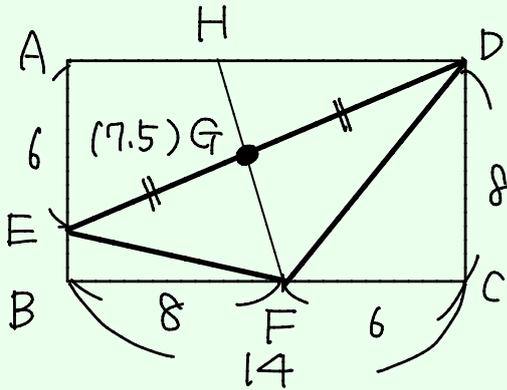
$$\begin{aligned} (2) \triangle DEF &= \text{矩形 } ABCD - \triangle EBF - \triangle AED - \triangle DFC \\ &= a(a+6) - \frac{a(a-6)}{2} - \frac{6(a+6)}{2} - \frac{6a}{2} \\ &= a^2 + 6a - \frac{a^2}{2} + 3a - 3a - 18 - 3a \\ &= \frac{1}{2}a^2 + 3a - 18 \end{aligned}$$

$$38 = \frac{1}{2}a^2 + 3a - 18 \quad \text{を解く。}$$

$$\begin{aligned} a^2 + 6a - 112 &= 0 \\ (a+14)(a-8) &= 0 \end{aligned}$$

$$a = 8, -14 \quad (a > 6 \text{ より}) \quad \underline{\underline{a = 8}}$$

(3) (2)のとき、DEの中点をGとおく。FGの延長が辺ADと交わる点をHとすると、AHの長さを求めよ。

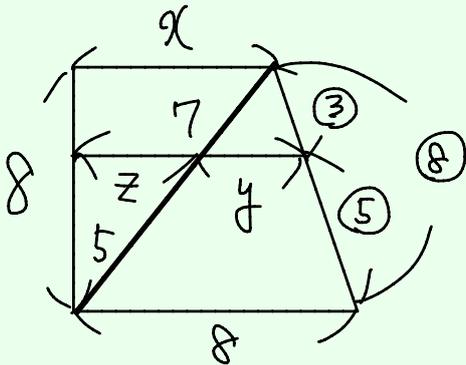


与えられた図をかき直すと考えやすい!

Bを原点としたグラフで考える。

$B(0,0)$, $A(0,8)$, $E(0,2)$, $F(8,0)$, $D(14,8)$

EDの中点 $G\left(\frac{0+14}{2}, \frac{2+8}{2}\right) = G(7,5)$



① $8:3 = 8:y$
 $y = 3$ より $z = 4$

② $8:5 = \alpha:4$
 $\alpha = \frac{32}{5}$

$AH = \frac{32}{5}$

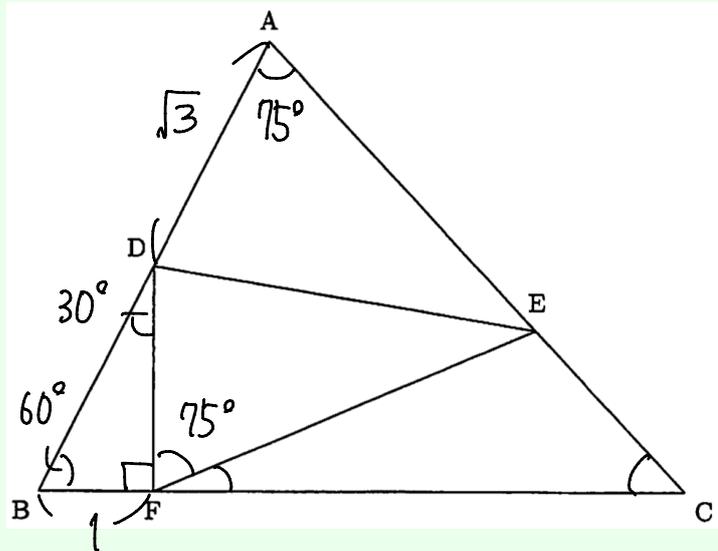


座標を用いると、長さを求めやすい場合もある。

5.

$\triangle ABC$ の頂点AをDEで折り返し、辺BC上の点Fに重ねる。 $\angle A = 75^\circ$, $DF \perp BC$, $AD = \sqrt{3}$, $BF = 1$ とする。このとき、次の各問いに答えよ。

- (1) $\angle EFC$ の大きさを求めよ。
- (2) $\angle ACB$ の大きさを求めよ。
- (3) BCの長さを求めよ。
- (4) AEの長さを求めよ。



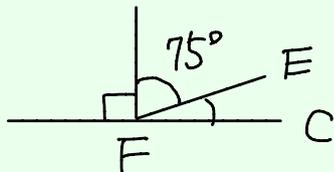
(1) 折り返したのて

$$DF = AD = \sqrt{3}$$

$\triangle BDF$ は $1:2:\sqrt{3}$

の直角三角形に
なるので

$$\angle B = 60^\circ, \angle BDF = 30^\circ$$



$$\therefore \angle EFC = 180 - 75 - 90 = 15^\circ //$$

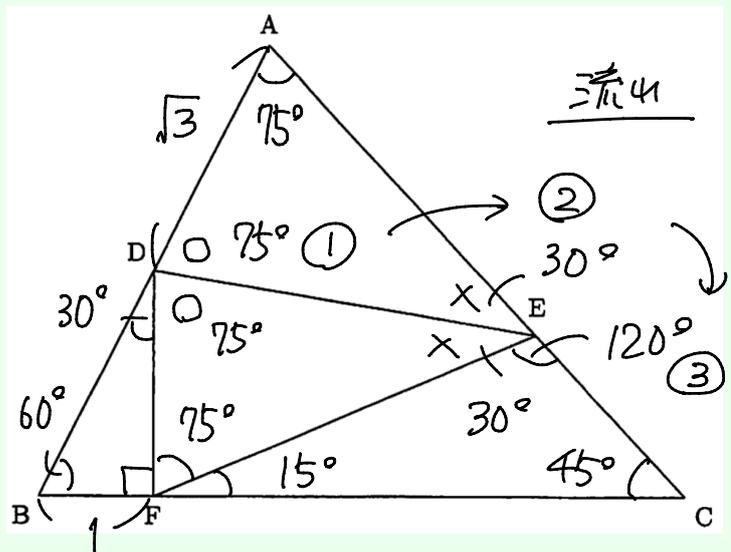
(2) 折り返すのて $\angle ADE = \angle FDE = \frac{180 - 30}{2} = 75^\circ = \circ$

$$x = 30^\circ \text{より}$$

$$\angle FEC = 120^\circ$$

$\therefore \triangle FEC$ の

$$180 - 120 - 15 = 45^\circ //$$



(3) BCの長さを求めよ。

① AからBCへの垂線AH
をひくと、

$\triangle ABH$ の $\triangle DBF$ より、

$$\begin{aligned} AH &= \frac{\sqrt{3}}{2} AB \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2} (2 + \sqrt{3}) = HC \end{aligned}$$

$$BH = \frac{1}{2} AB$$

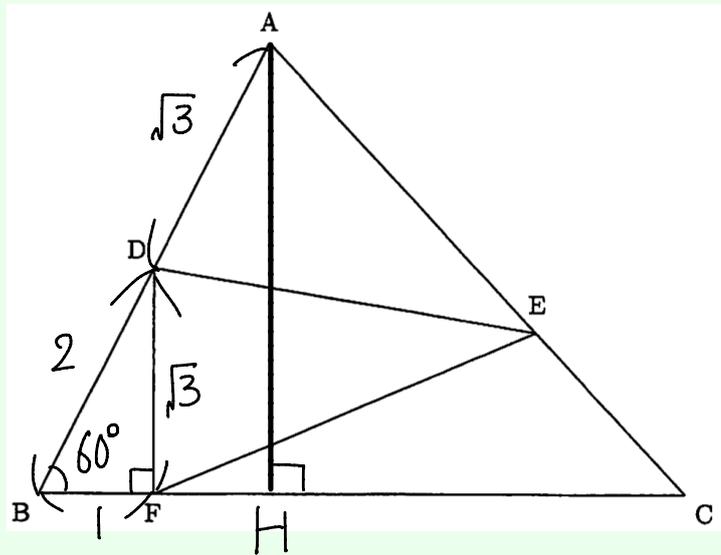
$$= \frac{1}{2} (2 + \sqrt{3})$$

$$\therefore BC = BH + HC$$

$$= \frac{\sqrt{3}}{2} (2 + \sqrt{3}) + \frac{1}{2} (2 + \sqrt{3})$$

$$= \sqrt{3} + \frac{3}{2} + \frac{2}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{3\sqrt{3}}{2} + \frac{5}{2}$$

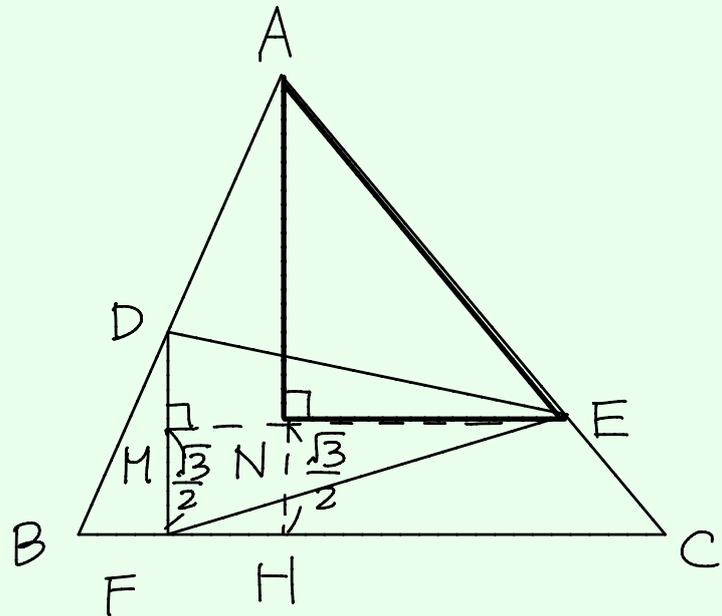
//



(4) AEの長さを求めよ。

① EとDFの中点Mを
通るEMとAHの
交点をNとすると、

$\triangle ANE$ が $1:1:\sqrt{2}$
の直角二等辺三角形
とわかる。



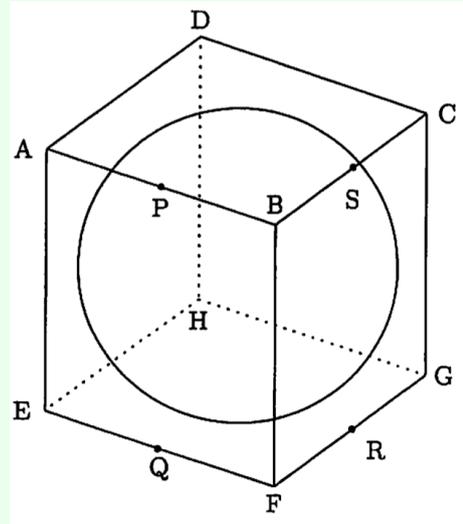
$$\begin{aligned} AN &= AH - NH \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2} (2 + \sqrt{3}) - \frac{\sqrt{3}}{2} \\ &= \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{3}{2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} AE &= AN \times \sqrt{2} \\ &= \left(\frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{3}{2} \right) \times \sqrt{2} \\ &= \frac{\sqrt{6}}{2} + \frac{3\sqrt{2}}{2} \end{aligned}$$

//

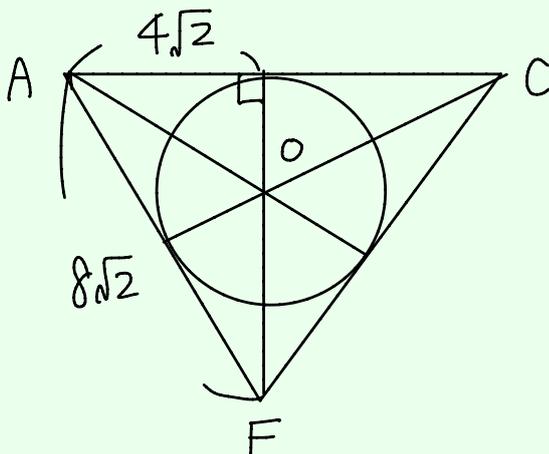
6.

1辺の長さが8の立方体 $ABCD-EFGH$ に球が内接している。AB, EF, FG, BCの中点をそれぞれP, Q, R, Sとする。このとき、次の各問いに答えよ。



- (1) 3点A, C, Fを通る平面で球を切ったとき、切り口の円の面積を求めよ。
 (2) 4点P, Q, R, Sを通る平面で球を切ったとき、切り口の円の面積を求めよ。

(1) A, C, F で切ると、1辺 $8\sqrt{2}$ の正三角形と、 $\triangle ACF$ に内接する円が作られる。



切り口の円(内接円)の半径を r とし、各頂点から垂線を引く。

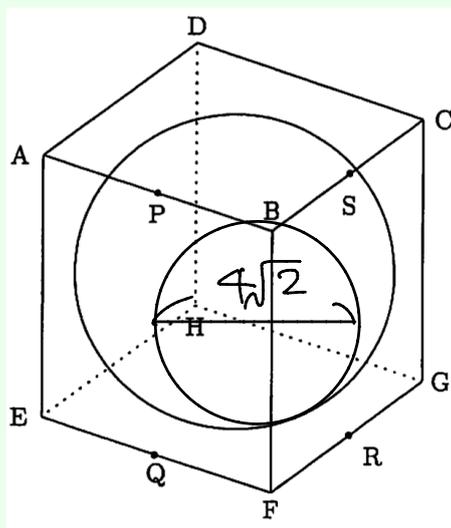
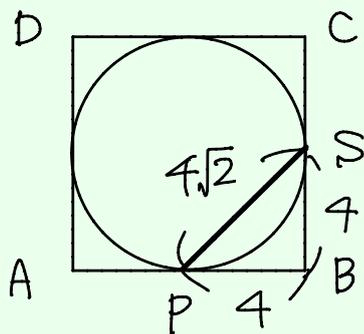
$$\triangle ACF = \triangle ACO + \triangle AFO + \triangle FCO$$

$$8\sqrt{2} \times 4\sqrt{2} \times \frac{1}{2} = \left(8\sqrt{2} \times r \times \frac{1}{2} \right) \times 3$$

$$\triangle ACF \quad r = \frac{16\sqrt{2}}{12\sqrt{2}} = \frac{4\sqrt{2}}{3}$$

$$\text{円の面積} = \pi \times \left(\frac{4\sqrt{2}}{3} \right)^2 = \frac{32}{3}\pi$$

(2) 4点P, Q, R, Sを通る平面で球を切ったとき、切り口の円の面積を求めよ。



切り口の円に弦の2倍
直径 = $4\sqrt{2}$

$$\therefore \text{面積} = \pi \times (2\sqrt{2})^2 = 8\pi //$$



いろいろな角度から立体や
切断面を考えるとこうに
なるぞ！